

GREEN RADAR

全農長野県本部情報 / グリーンレーダー



保育園で「きのこ食育教室」

A-Reports

- ・JA全農長野のきのこを使用した「きのこおでん」と、サッポロビールのアルコール飲料が全国タイアップキャンペーン
- ・野菜の安定生産・商品性向上に向けた取り組み
～野菜花き試験場との情報交換会を開催～
- ・決められた設定条件の中で接客力と技術力を競う
～「第39回長野県JA-S Sドライブウェイサービスコンテスト」開催～
- ・「松本山雅FC」ホーム・アウェイゲームのりんごキャンペーンイベント実施
～対戦相手のファン・サポーターの利用やツイート、ブログを通じたネット拡散も～

事業レポート (総合企画部)

県本部総合経営管理制のもと
JA・組合員へのメリット還元に努めています。

12

Vol.427

DECEMBER 2014



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



特別優秀賞1席に選ばれた肉豚



出品された肉豚を検品する審査委員

●審査結果 (敬称略)		
氏名	J A名	生産者名
特別優秀賞1席	みなみ信州	(農)SPFこがねや第2農場 小池 雅昭
特別優秀賞2席	みなみ信州	本村 隆雄
優秀賞	あづみ	佐原 悦司
〃	大北	(有)大北アグリサポート 白馬アルプス農場
〃	北信州みゆき	大日方 真理

10月22日(水)、(株)長野県食肉公社松本支社で「第67回長野県畜産共進会 肉豚の部」が開催されました。

県内で生産された肉豚20組100頭(メス3頭、去勢2頭/組)が出品され、厳正な審査の結果、特別優秀賞1席にはJ Aみなみ信州の(農)SPFこがねや第2農場 小池 雅昭氏が出品した肉豚が選ばれました。宮崎正彦審査委員長(長野県畜産試験場長)より、特別優秀賞に選ばれた肉豚は「全般に筋肉が良く発達しており脂肪の付着も適度で、品質に優れている。特に20組の中でも5頭の相似性も高く、肉付き・肉の締まり等の肉質に優れ、各部のバランスも良好な枝肉でした」と審査報告がありました。

なお、今年度は、全国的に猛威を振るうPED(豚流行性下痢)の影響により防疫対策として生産者による枝肉検品確認を中止し、J A担当者による検品確認が行われました。

きのこでおでん!?

J A全農長野のきのこを使用した「きのこおでん」と、サッポロビールのアルコール飲料が全国タイアップキャンペーン

全農長野県本部とサッポロビール株式会社は、12月1日(月)より、長野県産きのこを使用した「きのこおでん」をテーマに、タイアップキャンペーンをスタートします。

キャンペーンは、「どっちで乾杯!?こだわりきのこおでん」をテーマに、長野県産きのこことサッポロビールのアルコール飲料を店頭タイアップする、という形で展開します。

全国各地の対象量販店では、本会の「えのき

たけ」と「ぶなしめじ」のパッケージにタイアップキャンペーンのラベルと、通常は1色印刷されている「信州★チカラ」の★をサッポロビールと合わせ黄色に印刷した「えのきたけ」と「ぶなしめじ」、サッ

ポロビールは「麦とホップ The gold」と「極ZERO(ゴクゼロ)」を販売します。

おでんの食材としてイメージの少ない「きのこ」と、アツアツのおでんによく合うアルコール飲料をセットにして提案し「きのこおでん」という意外性から新たな需要喚起を狙います。

きのこのタイアップキャンペーン袋は、総数480万袋(えのきたけ220万袋、ぶなしめじ240万袋)で、量販店への直接納入の他、主要卸売市場を通じて全国に流通し、量販店では青果売場・アルコール売場に販促ツールを掲出します。また、対象量販店でのタイアップキャンペーンレシピーによる対面試食宣伝会ももちろん、P B袋を扱う量販店でも本会のきのこを使用した試食宣伝会を行います。

年末年始を挟んだきのこの最需要期に向け、2年続けて実施する「きのこ」と「アルコール飲料」の店頭タイアップが盛り上がり、互いに相乗効果を生み出せるよう、取り組んでまいります。

▼きのこ課

特別優秀賞1席に J Aみなみ信州の小池雅昭氏

〔農林水産祭参加〕第67回長野県畜産共進会 肉豚の部開催

10月22日(水)、(株)長野県食肉公社松本支社で「第67回長野県畜産共進会 肉豚の部」が開催されました。

県内で生産された肉豚20組100頭(メス3頭、去勢2頭/組)が出品され、厳正な審査の結果、特別優秀賞1席にはJ Aみなみ信州の(農)SPFこがねや第2農場 小池 雅昭氏が出品した肉豚が選ばれました。宮崎正彦審査委員長(長野県畜産試験場長)より、特別優秀賞に選ばれた肉豚は「全般に筋肉が良く発達しており脂肪の付着も適度で、品質に優れている。特に20組の中でも5頭の相似性も高く、肉付き・肉の締まり等の肉質に優れ、各部のバランスも良好な枝肉でした」と審査報告がありました。

なお、今年度は、全国的に猛威を振るうPED(豚流行性下痢)

の影響により防疫対策として生産者による枝肉検品確認を中止し、J A担当者による検品確認が行われました。

保育園で「きのこ食育教室」

11月11日は「長野県きのこの日」

全農長野県本部きのこ課と営業課は、11月11日の「長野県きのこの日」に、長野県産きのこにもっと親しんでもらおうと聖フランシスコ保育園(長野市)で「きのこ食育教室」を行いました。

きのこマイスターの資格を持つ営業課の職員が講師を務め、園児が目にする機会の少ないビン付きのきのこを使い、きのこの紹介やクイズ・もぎ取り体験を行い、きのこの魅力を伝えました。

食育教室の後には、園児がお手伝いして作ったきのこ汁を振る舞いました。自分たちが作ったきのこがたっぷり入ったきのこ汁は、おかわりをする列ができるほど大人気で、「おいしいー」と言いながら味わっていました。先生は「きのこを嫌いな園児もいるが、今日はみんな残さず食べている」と話していました。

今日学んだことをお家の方に話せるように、帰りにはきのこレシピー、シナノゴールドをセットにしたおみやげをプレゼントしました。

今後長野県産きのこに親しんでもらい、たくさん食べてもらえるように食育活動に取り組んでいきます。



野菜の安定生産・商品性向上に向けた取り組み

〔野菜花き試験場との情報交換会を開催〕

J A長野県営農指導者会議野菜専門部は11月5日(水)、塩尻市の長野県野菜花き試験場で「平成26年度野菜花き試験場との情報交換会」を開催しました。野菜花き試験場職員と県内4地区から営農指導者会議野菜専門部役員のJ A技術員、全農長野県本部、J A長野県営農センターの職員約40名が参加しました。

情報交換会では、今年の野菜を生産する上で問題となった事項を取り上げ、来年の野菜の安定生産・商品性向上に向けた対応を検討しました。また、試験場内の圃場で、トマト・キャベツ等の栽培新技術や加工業務用適品種選抜試験の研究内容を視察研修しました。

各J Aは生産上問題となった事項を、栽培・病害虫・土壌肥料等の項目別に紹介し、課題等を提起しました。特に今年の雹害多発・干ばつ・ゲリラ豪雨・8月中旬以降の低温多湿等、気象変動が大きかったことを背景とした問題事項や、それに対する対応策への質問が相次ぎました。

病害では、アブラナ科の黒斑細菌病、低温多湿に起因すると思われるベト病、

レタス根腐病のレース混発、ズッキーニのウィルス病等が問題となりました。これらの対策として、予防防除と適期防除を徹底するよう指導があり、更に新しい薬剤についても試験中であることが報告されました。

虫害では、コナガの薬剤への抵抗性の発達が一番の問題となりました。この対策としては、各農家でのローテーション防除の徹底と共に、移動性の高い虫であることから地域全体でもローテーション防除に取り組むことが重要と説明されました。

栽培・土壌肥料では、近年の気象変動による品質低下や生育遅延の問題から、かん水施設の設備、排水対策、土づくり等、基本技術の再徹底を出席者一同で確認しました。



決められた設定条件の中で接客力と技術力を競う

「第39回長野県JA-SSドライブウェイサービスコンテスト」開催

長野県農協生活事業推進協議会燃料専門部会と全農長野県本部は、10月16日(木)に安曇野市堀金の全農長野営農研修センターにおいて、給油所（SS）スタッフのスキルアップやカーメンテナンス収益の向上、土気高場による長野県JA-SSの活性化などを目的に「第39回長野県JA-SSドライブウェイサービスコンテスト」を開催しました。



スタッフ給油の部 最優秀賞の佐藤勇介さん

当日は秋晴れのなか、県内各地区から総勢14名の選手が集まり、お客様の迎え入れから送り出しまでの一連の流れを行う「スタッフ給油の部」（参加選手10名）と、給油から送り出しまでの一連の流れを行う「セルフ給油の部」（参加選手4名）に分かれ、あらかじめ決められた設定条件の中で、接客力と技術力を競いました。今年度からスタッフ給油の部では、お客様との信頼



セルフ給油の部 最優秀賞の和田佳大さん

関係の構築とコミュニケーション強化のため「立会点検」を取り入れました。各選手とも素晴らしい接客サービスを披露し、レベルの高いコンテストとなりました。



表彰式

【スタッフ給油の部】

(敬称略)

賞	選手名	所属	
		JA	給油所名（SS名）
最優秀賞	佐藤 勇介	佐久浅間 ㈱アメック	佐久インター給油所
優秀賞	出井 一 隆	松本ハイランド	協同経営 麻績給油所
優良賞	大沼 さおり	上伊那	協同経営 グリーンロード春富給油所
優良賞	猪瀬 大 晃	全農長野	SS協同経営課

※最優秀賞を受賞された佐藤さんは、10月29日(木)に埼玉県(大宮市)で行われたJX関東第1支店接客力向上コンテストに出場し、3位に入賞されました。

【セルフ給油の部】

(敬称略)

賞	選手名	所属	
		JA	給油所名（SS名）
最優秀賞	和田 佳大	㈱ジェイエイサービス	サンロードセルフ
優秀賞	山田 正之	ちくま	協同経営 アンズロード更埴

JAあづみオートパルの2人が見事優勝！

「自動車整備技能競技長野県大会でJA自動車事業初の快挙」

10月11日(土)、松本市ふれあい技能センターで、(一社)長野県自動車整備振興会が主催する全日本自動車整備技能競技長野県大会が開催されました。この大会は、全国約9万の整備事業場で組織される

(一社)日本自動車整備振興会連合会が2年に一度実施する全日本自動車整備技能競技大会への出場権を兼ねて開催されています。その大会に県振興会松本支部の代表として参加した(株)ジェイエイオート長野 JAあづみオートパルの2人(井澤大成さん・百瀬丈尋さん)が見事優勝を果たしました。

競技は2人一組のチームで、あらかじめ自動車に設定された故障・法令不適合を発見・修復する実技競技、お客様への接客・問診・診断等の対応を採点する整備技術アドバイザー競技、それに、機器の取扱いと測定値の正確性を問う基礎競技、以上3競技の合計点で



優勝したJAあづみオートパルの百瀬さん(左)と井澤さん(右)

自動車推進コンテスト上位者が富士重工業(株)本社を視察

長野県農協生活事業推進協議会自動車専門部会は、同部会が開催する「自動車推進コンテスト」の優秀者を対象とした研修会を、10月28日(火)・29日(水)の両日、富士重工業(株)本社で行いました。このコンテストは、県内の各JA

や関連会社の自動車担当者約100名がエントリーして年間販売台数を競うもので、上位者には先進地視察を兼ねた現地研修会への参加資格が与えられます。系統主力商品である「JAサンバー」が9月にフルモデルチェンジしたことに加え、富士重工業(株)の本社ビルが「新宿スバルビル」(昭和41年建設、48年経過)から「エビススバルビル」に8月に移転したこともあり、同社を研修場所とし、7名が参加しました。新型軽トラック「JAサンバー」の最新装備や性能の説明を受けた他、最新ショールームの視察などを通じて販売推進の手法を学びました。

研修に参加した担当者は「最新機能や情報を収集できた。販売時に的確な提案と説明をして、新型JAサンバー

を中心にスバル車の拡販につなげたい」と研修の成果について話していました。

営業仕様の「JAサンバー」は組合員や自動車担当者からの意見や要望をもとに、同専門部会を通じて農作業時の使い勝手や商品性・経済性を要請し、実現してきました。新型車についても引き続き改善を要望し、更なる商品力の進化を求めています。



研修に参加した優秀者と関係者

「松本山雅FC」ホーム・アウェイゲームの りんごキャンペーンイベント実施

～対戦相手のファン・サポーターの利用やツイート、ブログを通じたネット拡散も～

全農長野県本部は10月26日(日)、松本市の「アルウィン」で出荷最盛期を迎えたりんご「シナノスイート」の、また11月1日(土)には福岡市の「レベルファイブスタジアム」で「シナノゴールド」のキャンペーンイベントを実施しました。

カタレ富士山戦となった10月26日(日)は、試合会場となった松本市「アルウィン」の来場者を対象に地元J A松本ハイランド産「シナノスイート」の試食を行った他、「松本山雅FC」のロゴや、同クラブの公式マスコット「ガンズくん」のイラスト等を表面に現したりんごを先着500名様を対象に販売しました。会場では先行入場が始まると、多くのファン・サポーターの皆さんが全農長野県本部ブースに訪れ、シナノスイートの試食をするともに、ロゴやイラストの入ったりんごを買い求めていかれました。

J1昇格を目前にした松本山雅FCの人氣もあって、用意したりんごは1

時間程で完売しました。松本山雅FCホームゲームを利用したりんご(シナノスイート)のキャンペーンは3年目となりますが、特に今年は当日の対戦相手、「カタレ富士山」のファン・サポーターの皆さんの利用も目立った他、ツイートやブログでの紹介など、ネット上での拡散もみられました。今後こうした機会を通じて、信州のりんごの馴染みが全国に広がることに期待します。



販売のお手伝いにもブースを訪れたガンズくん

たいと思います。

11月1日(土)は松本山雅FCのアウェイゲーム(対アビスパ福岡戦)が福岡市「レベルファイブスタジアム」で行われるのに合わせ、松本市はじめ塩尻市や山形村等、中信地区自治体による観光PRと共同で「シナノゴールド」のキャンペーンを実施しました。当日はスタジアムに訪れたア

ビスパ福岡のファン・サポーターを対象に、自治体によるアンケート調査が実施され、アンケートに協力頂いた皆さんを対象に「シナノゴールド」をプレゼントしました。

あいにくの雨の中でしたが、地元のRKBラジオによる紹介もあって、キャンペーンブースには長い列が出来ました。「シナノゴールド」は一定の知名度があったものの、中には「王林ですか?」「梨みたい!」といった声も聞かれました。ブースを訪れた皆さん



シナノゴールドを受け取るアビスパ福岡のサポーター

んとお話をする中、皆様に共通していた声は「信州のりんごはおいしい」という長野県産地に対する福岡からの期待の声でした。

当日の福岡市でJ1昇格を決め、何かと話題に上る機会の増えた松本山雅FCですが、同クラブの試合・活動が「信州の農畜産物」への興味を引くきっかけとなっていることも多く、今後も同クラブの活動に合せ、様々な場面で信州の農畜産物や信州の産地をアピールする機会を創出していきます。

長野県産花きを使って親子で花育!

～「ママまつり2014 in Nagano」でアレンジ教室を開催～

J A全農長野野菜花き課は、10月13日(月)祝に長野市内のホテルで開催された「ママまつり2014 in Nagano」に出展し、長野県産花きのPRとして「長野県の花でろう! フラワーアレンジ教室」を行いました。当日は台風接近予報の中、親子連れを中心に約5,000名の来場者で大変賑わいました。



アレンジ作り挑戦する親子

てという方、小学生以下のお子様、親子でのご参加など、参加者は様々でしたが、予定した延べ40名に体験していただくことが出来ました。

参加者アンケートでは、長野県が生産量1位の花(カーネーション、トルコギキョウ、アルストロメリア、ダリア、シヤクヤク、シクラメン等)や、長野県の県花(リンドウ)についての認知度が低い、ということが分かりました。今後、花に親しむアレンジ教室や花に関する知識等を提供する花育活動等を通して、長野県産花きの認知度向上や花の消費拡大につなげる取組みを企画していきます。



約5,000人の来場者で賑わう会場



フラワーアレンジ教室のコーナー

「りんご三兄弟」を 家庭で食べ比べ

～農林水産祭で信州の味を試食販売～

J A長野県農産物PR協議会は、東京池袋・サンシャインシティで10月31日(金)から11月1日(土)に開催された第53回農林水産祭「実りのフェスティバル」に出展しました。

長野県ブースは、りんご三兄弟の3品種や南水、えのきたけ、ぶなしめじ、エリンギ、大粒なめこ、山菜茸を取り揃え、長野県の旬の味をPRしました。

今回「りんご三兄弟」を家庭で食べ比べてもらおうと初めてセット販売したところ、「色々な味が入っていて楽しめそう」と次々に売れていきました。このイベントに毎年訪れているという夫婦は「りんご三兄弟は知っています」「シナノスイートが一番好き」と話し、セットを買い求めていました。

りんご三兄弟は、認知度が年々上がっていることを実感します。「シナノスイートは甘いよね」「シヤキシヤキしているシナノゴールドが好き」と品種の特徴を知っていて購入するお客様も増えていきます。



好評だった「りんご三兄弟」セット

収穫体験と調理実習を通じてきのこの身近に！

～えのき小学校で「きのこの食育教室」～



全農長野県本部大阪販売事務所はJA中野市、大阪南部合同青果(株)と連携し、9月29日(月)に大阪府堺市立榎(えのき)小学校で「きのこの食育教室」を行いました。同小学校とは学校名が「えのき」であることから、昨年よりきのこのを使った食育教室を実施しています。今回は、5年生4クラスの計133名の児童が参加しました。

はじめに全クラス合同の講習会で長野県の産地紹介やきのこの栽培方法を学習し、その後クラスごとに分かれて調理実習を行いました。調理実習は「きのこの味噌汁」と「ミックスなめ豆」の2品を作りました。調理実習の予定時間を多少過ぎたクラスもありましたが、自分で作った料理は格別の味だった様で、おかわりをする児童も見られ好評でした。

後日送られてきた児童からの感想文には「きのこは元々好きだけど、今日のお話を聞いてもっと好きになった」「きのこは森で作られていると思っていた」「ビンの中で色々な工夫がされていることが分かった」「信州力が可愛い」などと書かれており、きのこ長野県に関心を持ってもらうことが出来ました。きのこに親しんでもらい、きのこが当たり前にある食卓になるよう、消費宣伝の一環として食育事業にも取り組んでいきます。

五感を使って味わう「味覚の授業」

～県内小学校で開催～

子どもたちに味の基本や五感を使って食べる大切さを教える「味覚の授業」が、10月20日(月)～28日(火)に県内小学校5校で行われ、全農長野県本部は長野県産農畜産物を調理実習に使用する食材として提供しました。「味覚の授業」は、シェフやパティシエがボランティアで小学校に赴き、味蕾が発達段階にある小学3～6年生を対象に、味についての知識や味わうことの楽しさに触れる授業を行っています。

10月23日(木)に千曲市立戸倉小学校で行われた授業には、(公社)全日本司厨士協会関東総合地方本部長野県本部に所属するシェフ9名が講師に赴き、6年生3クラス計80名の児童に授業を行いました。

始めに味の基本4要素「塩味」「酸味」「苦味」「甘味」と、日本特有の第5の味と言われる「旨味」を加えた5味を、塩や酢を使い香りや味を確かめました。旨味を味わうために講師が昆布と鰹節で「だし汁」を作る作業は、だしをとる家庭が少ないためか興味深そうに見ていました。塩を少し足してだし汁を試飲すると「おいしい」「高級な味がする」と言いながら味わっていました。



旨味の素 干しシイタケを味わう児童



班ごとにラタトゥイユを調理

調理実習では、5味全ての味を味わえるラタトゥイユ(南仏地方の野菜煮込み料理)を講師の手を借りながら調理しました。化学調味料が入らない野菜本来の味の深みを味わい、「ピーマンは苦手だけど今日は食べられた」「色々な味がする」等、様々な感想がありました。講師は「テレビを見ながら食べると、味わいながら食べることができないよね。食事に集中して家族と会話をしながらごはんを食べると、もっと美味しく楽しい時間を過ごすことができるはずです」と言つと、児童も納得したようでした。講師を務めた丸山喜男氏は「農家の方や調理してくれた方に感謝し、味わって食べることの楽しさや大切さを感じ取って欲しい」と話していました。

事業レポート

総合企画部

県本部総合経営管理制のもとJA・組合員へのメリット還元に努めています。

総合企画部は、県本部全般の経営戦略の企画立案および事業に見合ったシステム開発、機構の検討・改定、事業別企画の調整、県本部グループとして関連事業(子会社・関連法人他)の経営管理などを行っています。

○企画課

企画課は、事業計画策定、予算編成・予算進捗管理、6次産業化対応、TPPや農協改革などの農政対応を行っています。平成26年度の事業環境は、さまざまな課題を抱え、厳しさを増していますが、「中期事業計画(平成25～27年度)」及び「中期事業ビジョン」を基本に、農家組合員の経営安定と農業生産基盤の維持に向け事業をすすめています。また、関連事業(子会社・関連法人他)の経営管理、株主総会・取締役会の調整や連結決算など、県本部グループのガバナンス体制の再構築に努めています。

現在、平成27年度事業計画を策定していますが、引き続き生産販売から購買まで一貫する総合経済事業を



通じて、JA・組合員の営農と生活の向上に貢献するよう努めます。

○情報システム課

現代社会では、様々な事業に伴いデータ化された情報が迅速な取引とともに飛び交っています。その止められないデータを的確にJAはじめ取引関係者との橋渡しを行う手段として、県本部では多様なシステムを構築しています。

情報システム課では、各部門の目指す方向を支援するためのシステム開発と、コスト削減のための運用管理と改善を統括しています。

また、膨大なデータのやりとりを正確かつ迅速に行う信頼されるシステム環境を実現するため、県本部子会社である(株)全農長野計算センターとともに取り組んでいます。

担当部長からひとこと

県本部総合経営管理制の一環として、管理系・業務系独自システムの着実な稼働と維持管理をすすめるとともに、JAとの一体的な事業運営と事業利益の確保を目指して、会全体の事業・予算計画の進捗管理に努めています。また、系統事業の拡大やコンプライアンス対応等、現業部との連携をはかりながら、関連事業管理についても徹底をはかっています。

経済事業を取り巻く環境は厳しさを増していますが、JA、組合員の負託に応えるべく、それぞれの取組みを強化してまいります。

総合企画部長 佐藤正彦

12月の動き▶

総企画部	●地区別懇談会（中南信地区） 12月3日(水) JA中信会館 ●地区別懇談会（東北信地区） 12月5日(金) JA長野県ビル・アクティールホール
管理部	●仕事納め 12月29日(月) ●仕事始め 平成27年1月5日(月)
米穀課	●長野米で「北信越うまいもの先取りキャンペーン」 ～12月31日(水)
野菜花き課	●ママ&キッズ フラワーアレンジ教室 ～長野県産花きを使って～（仮称） 12月13日(土) 篠ノ井市民会館
畜産課	●第67回長野県畜産共進会 肉用牛 和牛の部 12月2日(火) 大阪市食肉市場 ●京都信州和牛長野県産枝肉共励会 12月5日(金) 京都食肉市場 ●長野県中央家畜市場 12月9日(火) 長野県中央家畜市場
酪農課	●信州の畜産酪農キャンペーン2014 ～平成27年2月28日(土)
燃料・ホームエネルギー課、東ジェイエイオート長野	●JA自動車整備工場・オートパル「お客様感謝デー」 12月6日(土) 県下の各JA自動車整備工場・オートパル
A・コープ事業部	●旬の食卓カレンダープレゼント 12月4日(木) A・コープ各店舗 当日2,000円以上お買い上げいただいたお客様に、 四季折々の旬の食材をわかりやすくまとめたカレン ダーを数量限定でプレゼント！ ●くらしイキイキお買い物サービスデー 12月5日・15日・25日 A・コープ各店舗 登録申込みいただいた65歳以上のA・コープ友の会 会員様は、毎月「5」のつく日にA・コープ友の会ポ イント30Pプレゼント！ ●越冬野菜市 12月5日(金)～7日(日) A・コープ各店舗 野沢菜・土付ねぎ・ごぼうなどの越冬野菜の他、贈 答用長いも・贈答用りんごなどをご奉仕！ ●冬の厳選まごころギフト取扱中！ 1月8日(木)まで A・コープ各店舗 本体価格2,250円以上のギフトは全国送料無料！ 青果物他一部商品は12月14日(日)までの承りとなります。 ●A・コープクリスマスケーキ予約承り中！ 12月14日(日)まで A・コープ各店舗 ●A・コープおせち・歳末かに予約承り中！ 12月24日(木)まで A・コープ各店舗 ●クリスマスセール 12月21日(日)～24日(水) A・コープ各店舗 クリスマスケーキ等のクリスマスご準備はA・コープで！ ●大歳の市 12月31日(水) A・コープ各店舗 一年間のご愛顧に感謝を込めてご奉仕いたします。

JA全農長野の事業現況

平成26年度10月末部門別実績表

(単位:百万円,%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
米	穀	11,435	96	95
果	実	23,496	104	99
野菜花き		62,058	109	103
野菜種苗センター		138	98	99
きのこ		10,108	92	99
営	業	9,428	100	104
生産販売部計		116,662	104	101
包装資材		5,452	87	87
生産資材		6,974	104	88
農業機械		4,006	90	83
施設住宅		1,856	139	53
生産購買部計		18,289	97	81
畜産	産	7,143	108	106
三岳平谷牧場		141	114	109
SPF繁殖センター		170	104	104
酪農	農	10,473	110	105
八ヶ岳牧場		166	88	100
畜産酪農部計		18,093	109	105
燃料・ホームエネルギー		16,851	104	97
S S 協 同 経 営		7,052	106	98
生	活	8,085	99	97
生活部計		31,988	103	97
A・コープ事業部計		18,754	102	104
長野県本部計		203,786	104	99

クリスマスケーキのご予約はA・コープで！



ご予約締切日【12/14(日)まで】

クリスマスにケーキは欠かせませんね。A・コープではクリスマスケーキご予約承り中です！ご予約いただきますと、なんと通常価格の1割引きでご奉仕いたします。

おすすめは毎年好評いただいている「A・コープオリジナルケーキ」。キメの細かいしっとりとしたスポンジと、乳脂肪分27%のクリームを使用し、コクのある風味豊かな味わいに仕上げました。

その他にも多数取り揃えていますので、詳しくは店頭パンフレットをご覧ください。

お年越はA・コープの「かに」をどうぞ！

お年越しに「かに」は欠かせませんね。今年の年末はA・コープのかにをどうぞ。A・コープでは「歳末ずわいがに・たらばがに」のご予約を承り中です。北洋の荒波で育った「ずわいがに」。かにの王様「たらばがに」。

また、A・コープのオリジナルおせちもお忘れなく。豪華な姿と美味しさが新春の食卓を華やかに彩ります。詳しくは、お近くのA・コープ店舗にお問い合わせください。



オートパル・JA自動車整備工場「お客様感謝デー」開催！

冬のお支度はお済みですか？ オートパル・JA自動車整備工場では、日頃のご愛顧に感謝して「お客様感謝デー」を開催いたします。この機会に愛車の点検はいかがですか。冬タイヤの交換のご用命もお待ちしております。

◇日時 12月6日(土)午前9時～午後4時

◇会場 県下オートパル、JA自動車整備工場

◇12項目の点検無料！！

- ①エンジンオイル ②冷却水 ③ブレーキオイル ④バッテリー ⑤パワーステアリングオイル ⑥エンジンかかり具合 ⑦ワイパー・ウォッシャー液 ⑧ブレーキペダルの遊び・フロアとの隙間 ⑨パーキングブレーキ引きしろ・踏みしろ ⑩ライト点検状態・ホーンの音 ⑪ホイールナット締め付け状態 ⑫タイヤ空気圧・磨耗・損傷

◇オイル交換大特価！

エンジンオイル交換(1台)(工賃、消費税含む)

軽自動車・小型乗用車 1,000円

普通乗用車 1,500円

RV車・ワンボックス車 2,000円

※低燃費オイルを使用する場合は、別途となります。

皆様のご来店をお待ちしております！！



編集後記

11月1日(土)、松山山雅FCが「J1」への昇格を決めた博多のスタジアムにいました。試合後の会場の大騒ぎの中、信州にJ1のチームなんて遥か遠い未来の話だと思っていた5年前の広報検討会議が、つい昨日のように思い出されました。

Jリーグの他クラブには見られない、お年寄りから子供まで、多様な世代から応援を受ける同クラブですが、その背景には、同クラブが「地域クラブ」としての理念を貫き、華やかな試合の一方で、地道な地域貢献活動が続けてきたこともあるのではないかと思います。

全農長野県本部も地域(産地)に根付いて、地域の振興に貢献する組織です。私たちも多くの皆さんから支持され続ける組織でありたいものだと思います。

J1昇格おめでとうございます。

謹んで震災の

お見舞いを申し上げます

このたびの長野県神城断層地震により

被害を受けられました皆様に

心からお見舞い申し上げます。

平成二十六年十一月

全国農業協同組合連合会長野県本部



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



JA全農長野ホームページ <http://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JAタウン」 <http://www.ja-town.com>

